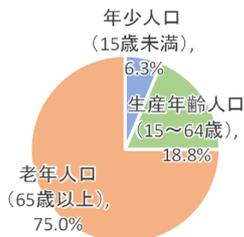


高山 (たかやま)

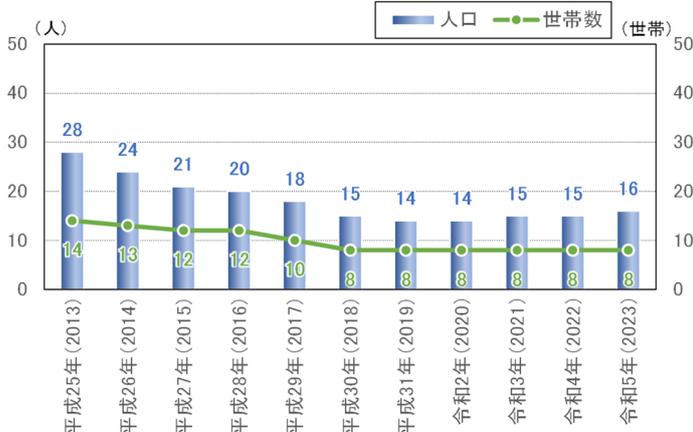
人口・世帯数等 (令和5年4月)

人口	16人
世帯数	8世帯
高齢化率	75.0%

年齢別人口割合



人口・世帯数の推移 (過去10年間)



区域の概要

立地 集落は、標高350mの高地にあり、春來川に注ぐ高山川と清水谷川の源に位置する。周囲を山に囲まれた農山村である。南東側の大空山の中腹には砂鉄の採取場跡がある。

地名由来 山の中腹にある隠れ里のような場所に位置するためとされる。(「たじま地名考」日本海新聞)

歴史等 集落の起源については、平家の残党が逃れ逃れて高山に住みついたことに始まるとも伝えられる。

近世の高山村は、歌長村の枝郷で、村請制の下、年貢(税金)の村高は歌長に属したが、村には総代を置き、歌長は別の自治運営を行っていた。一区として、独立して村運営をするようになったのは、明治37年(1904)12月27日からである。

かつては、熊谷から伊角、高山、桧尾へと通じ、味取口から七美に入る山道を多くの人が利用して賑わっていたという。また、高山から伊角に通じる山中にある巨岩は、かつてはのろし場として利用され、月見祭も行われていたと伝わる。大正時代末期の戸数は35戸。(「温泉町郷土読本」)

これまで把握している文化財

文化財の件数 11件 (うち指定等文化財 1件)

大分類	中分類	小分類	把握件数	指定等	
有形文化財	建造物	建築物	0	0	
		石造物	0	0	
		工作物・その他の構造物	0	0	
	美術工芸品	彫刻	4	5	1
		絵画	0	0	0
		工芸品	0	0	0
		書跡・典籍	0	0	0
無形文化財		古文書・歴史資料・考古資料	1	0	
		音楽	0	0	
		演劇	0	0	
		工芸技術	0	0	
		その他の無形文化財	0	0	
		信仰の場	1	0	
		祭具	0	0	
民俗文化財	有形の民俗文化財	民具	0	0	
		その他の有形の民俗文化財	0	0	
		年中行事・民俗芸能	1	0	
	無形の民俗文化財	民俗技術	0	0	
		食文化	0	0	
		民間説話・俗信	3	0	
		その他の無形の民俗文化財	0	0	
記念物	遺跡	散布地・集落跡・生産遺跡	0	0	
		古墳・その他の墓	0	0	
		城館跡・寺社跡	0	0	
		街道・古道等	0	0	
		戦争遺跡	0	0	
		その他の遺跡	0	0	
		山岳・高原・丘陵	0	0	
	名勝地	海岸・海浜・島嶼	0	0	
		河川・滝・渓谷・湖沼	0	0	
		公園・庭園	0	0	
	動物・植物・地質鉱物	動物	0	0	
植物		1	0		
地質鉱物		0	0		
文化的景観		生活・生業・風土により形成された景観地	0	0	
伝統的建造物群		宿場町・城下町・農漁村等	0	0	



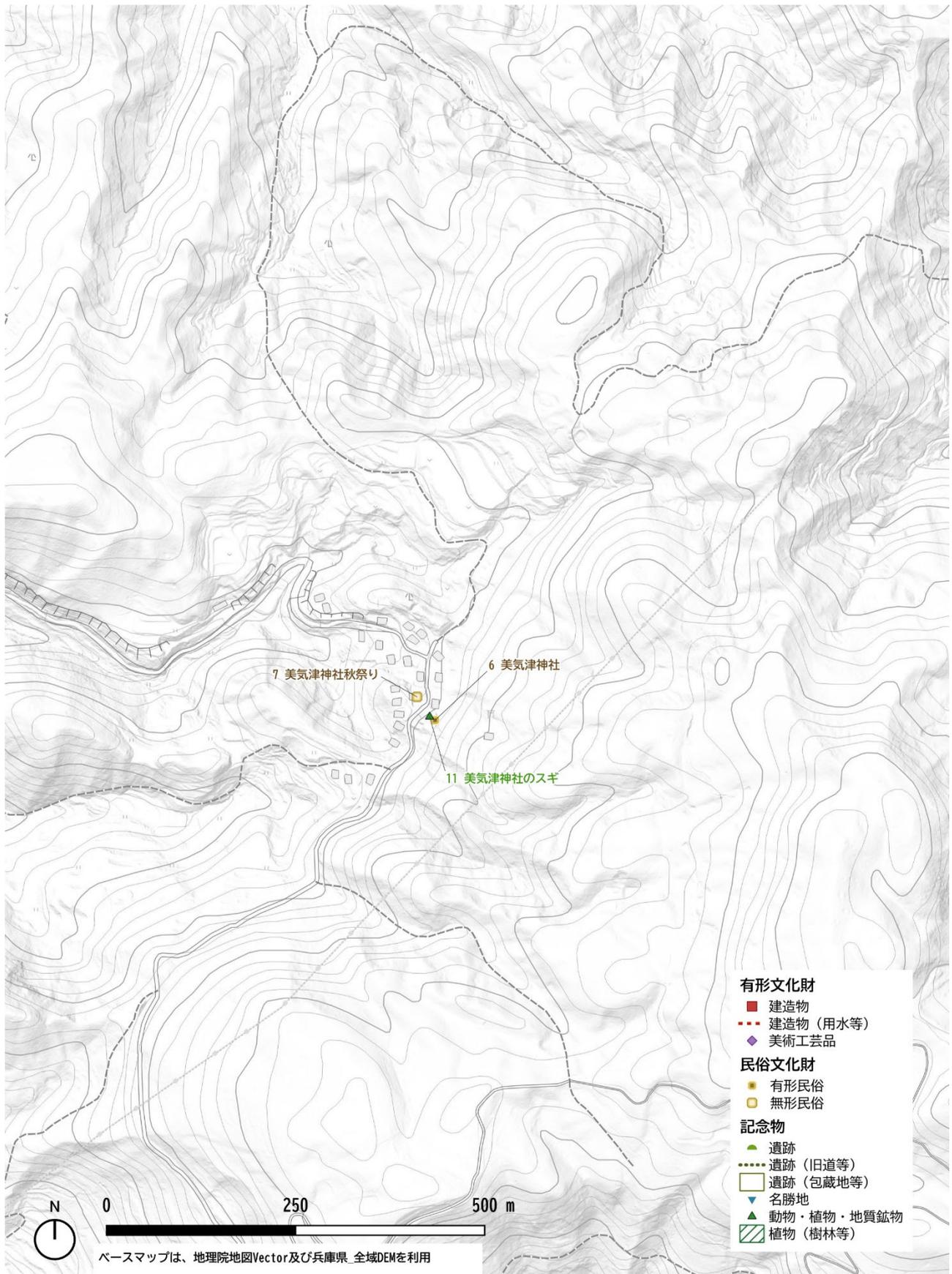
木造毘沙門天立像



美気津神社

※人口・世帯数は住民基本台帳(令和5年4月現在)による。

文化財の分布



※所在地の掲載可能なものに限る

4-03 高山

文化財の一覧

■ 有形文化財／美術工芸品

分類	番号	名称	概要
彫刻	1	木造毘沙門天立像	美気津神社観音堂に本尊に向かって左の脇侍として安置されている。台座を含めた総高約 125cm。兜を被り体部に革鎧を着け、左足で軽く邪気を踏む像容、顔の表情や体部の的確な肉付き等の作風から平安時代後期（12世紀）の作と思われる。両手先、持物、光背、全体の彩色等は後補と思われる。清富相応峰寺の木造十一面観音菩薩立像、湯正福寺の木造不動明王立像と同様、新温泉町における平安仏教文化を知る数少ない仏像の一つである。 町指定文化財
	2	高山の地藏さん	40×28cm の石像（地藏像）。高山口の旧街道にある。
	3	美気津神社観音堂の聖観世音菩薩像	美気津神社観音堂の本尊。左右に不動明王像と毘沙門天像を脇侍に置く三尊構成。昭和 59 年（1984）に一部改修している。
	4	美気津神社観音堂の不動明王像	美気津神社観音堂の本尊に向かって右の脇侍。122×40cm。
古文書・歴史資料・考古資料	5	高山地区の古文書	高山集会所に保管。

■ 民俗文化財／有形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
信仰の場	6	美気津神社	祭神は大山祇命。弘仁 10 年（819）の創立と伝えられている。当初は歌長神社の分社として祀っていたと伝えられている。後に分かれて当社を氏神として祀った。平安時代後期の天台宗や真言宗の寺院に多く見られる観音像を本尊とし、その左右に不動明王像と毘沙門天像を脇侍に置く三尊構成である。江戸時代まで五社大明神といったが、明治初年（1868）に美気津神社と改めた。明治 6 年（1873）3 月に村社となった。

■ 民俗文化財／無形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
年中行事・民俗芸能	7	美気津神社秋祭り	10 月 1 日に高山集会所で行われる。
民間説話・俗信	8	高山の大蛇	※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和 59 年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p73 参照
	9	高山集落の起源	※『温泉町郷土読本』（昭和 42 年、温泉町教育研修所調査部編集）p217 参照
	10	五間さん（のろし場）	※『温泉町郷土読本』（昭和 42 年、温泉町教育研修所調査部編集）p217 参照 ※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和 59 年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p181 参照

■ 記念物／動物・植物・地質鉱物

分類	番号	名称	概要
植物	11	美気津神社のスギ	美気津神社境内にあり、本殿左側に位置する。

